

# 地 域 医 療

## 1 教育目標

### (1) 一般目標

#### 【クリニカル・クラークシップA】

地域社会で求められる保健・医療・福祉・介護などの活動を通して地域医療と地域包括ケアシステムを一体的に構築することの必要性・重要性を学ぶ。

#### 【クリニカル・クラークシップB】

都市部から離れた地域の中小病院において病院総合医としてプライマリ・ケア診療を行うには幅広い臨床能力に加え、その他に多様な能力が求められる。それらには、症状、性別、年齢に拘わらない幅広い対象に向き合うために必要な特定の診療科に限定されない診療能力だけではなく、多職種との連携、地域の医療・介護施設との連携、地域のニーズに対応する能力などが含まれる。

都市部から離れた地域の中小病院で総合診療医として地域のニーズに応えるとはどのようなことかを理解し、その能力を身に付けるための一歩を踏み出すことがこの実習のねらいである。

### (2) 行動目標・・・実際に実施すべき具体的内容はポートフォリオも参照すること

---

#### 態度

#### 【クリニカル・クラークシップA】

1. 患者、施設職員を含むすべての関係者に挨拶ができ、また実習に積極的に参加している意欲を伝えることができる。
2. 地域医療に積極的に取り組む考えを持つことができる。
3. 慢性期患者、高齢患者に対して共感を示すことができる。
4. 地域をケアする事を考えることができるようになる。

#### 【クリニカル・クラークシップB】

5. 地域の基幹病院としての責任感を感じることができる。

---

#### 知識

#### 【クリニカル・クラークシップA】

1. かかりつけ医の役割を理解する。
2. 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解する。
3. 地域包括ケアの概念を理解し、地域における、保健・医療・福祉・介護の分野間（行政を含む）の連携に必要な能力を説明できるようになる。

#### 【クリニカル・クラークシップB】

4. 地方の中小病院の病院総合医の役割と求められる能力の必要性を認識し、その内容を理解する。
5. 地方の中小病院の総合医に求められる地域連携、多職種連携の必要性を認識する。
6. その地域における、医療・保健・介護・福祉・介護の分野間（行政を含む）の連携に必要な能力を理解する。

---

#### 技能

#### 【クリニカル・クラークシップA】

1. 医療スタッフ、患者、家族を含むすべての関係者と良好なコミュニケーションを取ることができる。
2. プライマリ・ケア実践に必要な技能を実際の臨床業務を通して経験し、その一部を介助できる。クリニカル・クラークシップA地域医療ポートフォリオに記載されている”施設内、施設外、その他の行事への同行と手伝い”の業務を介助できるようになる。

### 【クリニカル・クラークシップB】

3. クリニカル・クラークシップB地域医療ポートフォリオに記載されている“施設内,施設外,その他の行事への同行と手伝い”の業務の一部を指導医の元あるいは自分自身で実施できる。

## 2 実習要領

### (1) 準備

1. AIDLE-Kに掲載されているクリニカル・クラークシップAおよびB【地域医療】ポートフォリオをダウンロードする。
2. ポートフォリオを熟読し,実習初日までのチェックリストを確認する。また,実習内容とレポートなどの提出物を確認する。
3. **実習1週間前に実習施設に自己紹介状を送付する。**
4. 実習施設の場所,交通機関,集合時間を確認する。

### (2) 出席表

ポートフォリオ内に納められている実習記録に指導者のサインをもらうことで出席を確認する。

### (3) 施設への礼状

**実習終了後速やかに指導者へ礼状を送付する。これも評価に含める。**

### (4) 提出物締め切り

**実習翌週の火曜日 17:00** までに AIDLE-K に提出する。

ㄇ切以降に提出されたものは評価の対象としないので,注意すること。

## 3 実習評価

### 【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. すべての提出物(礼状、事後アンケートも含む),及び,指導施設指導者からの評価によって最終評価する。
2. **減点: 提出物の期限が守られなかった場合 9割減**  
**提出物の不備(フォーマット、フォントを含む)それぞれについて 1割減**  
**提出物の書き直し(SEA, レポート, 出席票)それぞれ 4、3、3割減**

\* 提出物はすべて**指定された通りの形式でWORDで作成**すること。(除:礼状,出席票)

**要注意: 指定以外の形式で提出された場合は減点。**

**クリクラAの出席票はスキャナーで取り込んだPDFまたはそれと同等の質で写された写メデータ以外は再提出。**

**すべて1ページに収めること(除:礼状)。**

\* 提出物は実習指導医に送付される。

\* 提出物は全学生分がまとめられ実習報告書が作成され,関係各所に配布される予定である。

3. 不合格となった場合の対応は別途指示する(長期休暇中に再履修,または課題レポート試験など)
4. 指導施設指導者からの評価が不可であった場合は,基本的には不合格とする。不可の具体的内容を指導者から聴取し,著しく問題があると判断した場合は単位を与えない。

## 4 クリニカル・クラークシップ指導連絡員

職名	教員名
教授(特任)	宮田 靖志
准教授(特任)	上松 東宏

\*実際の現場での指導責任者は各施設の医師となる。

## 5 連絡先

緊急時の連絡先：大学 0561-62-3311 ◆教務課直通 0561-61-5244

◆地域医療総合診療医学寄附講座 教授(特任) 宮田 内線 12355  
准教授(特任) 上松 内線 12356

\*遅刻・欠席の場合→速やかに教務課に電話をして事情を説明する。直接実習先に電話を入れないこと。

## 6 クリニカル・クラークシップA 週間予定表

\*各施設によって週間予定は異なるため、実習施設の週間予定に従う。

## 7 クリニカル・クラークシップB 週間予定表

\*各施設によって週間予定は異なるため、実習施設の週間予定に従う。